

令和4年 医学部6年生を対象とした教育要求分析

—学部教育・カリキュラムの評価と要望の傾向—

令和4年11月

【調査発案】

- ・医学部IR室委員会、医学部長

【調査の意義・目的】

・本学における医学教育の改善を目的として、臨床実習を終了した医学部6年生の学生を対象とし、これまでの教育プログラムに関するアンケート調査を実施する。この調査は、今後のカリキュラム見直しに役立てる資料とするものである。

【調査方法】

・令和4年11月4日に、情報演習室において開催された医学部6年生を対象とする医師国家試験願書等記入要領説明会にて、調査の趣旨説明と協力を依頼した。情報演習室の端末を利用してweb上のアンケートフォームにアクセスしてもらい、記名式で調査を実施した。

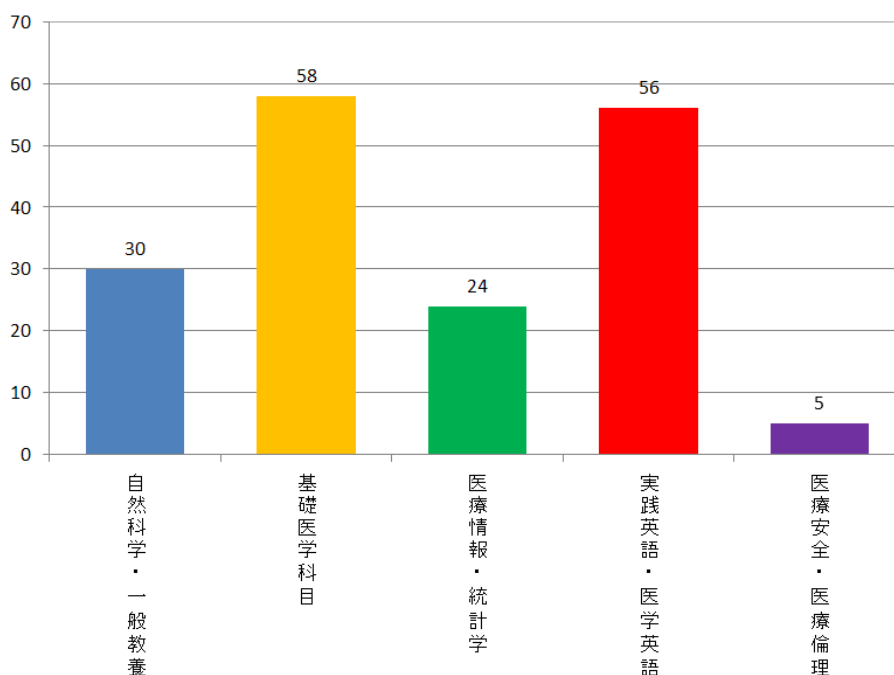
【調査の集計と結果】

- ・調査対象とした本学医学部6年生115名中113名より回答を得た。

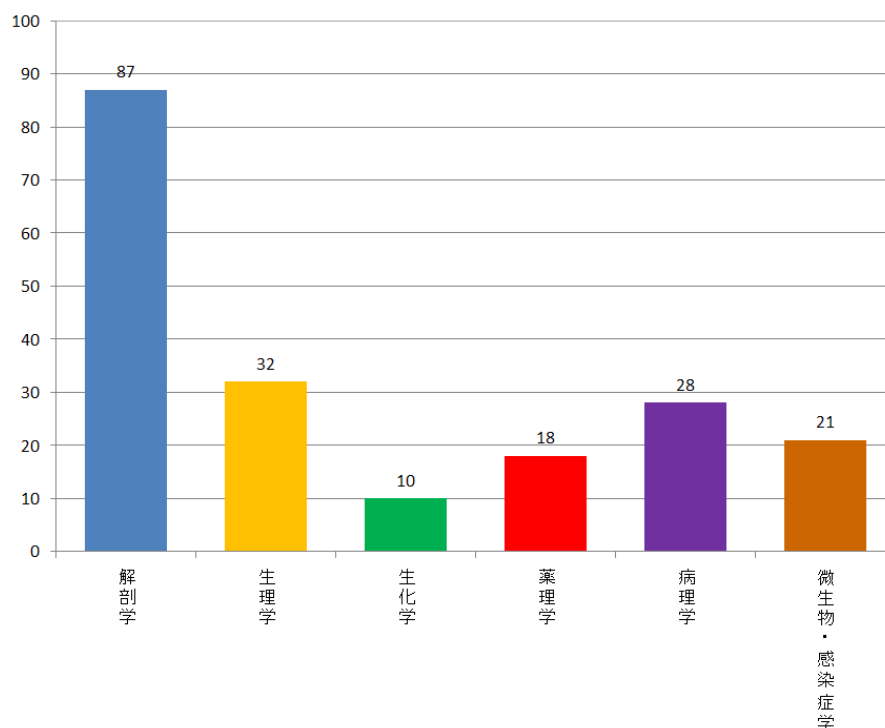
学部教育における不足事項

・「在学中にもっと学んでおけばよかった」と思う項目を2つまでの複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。

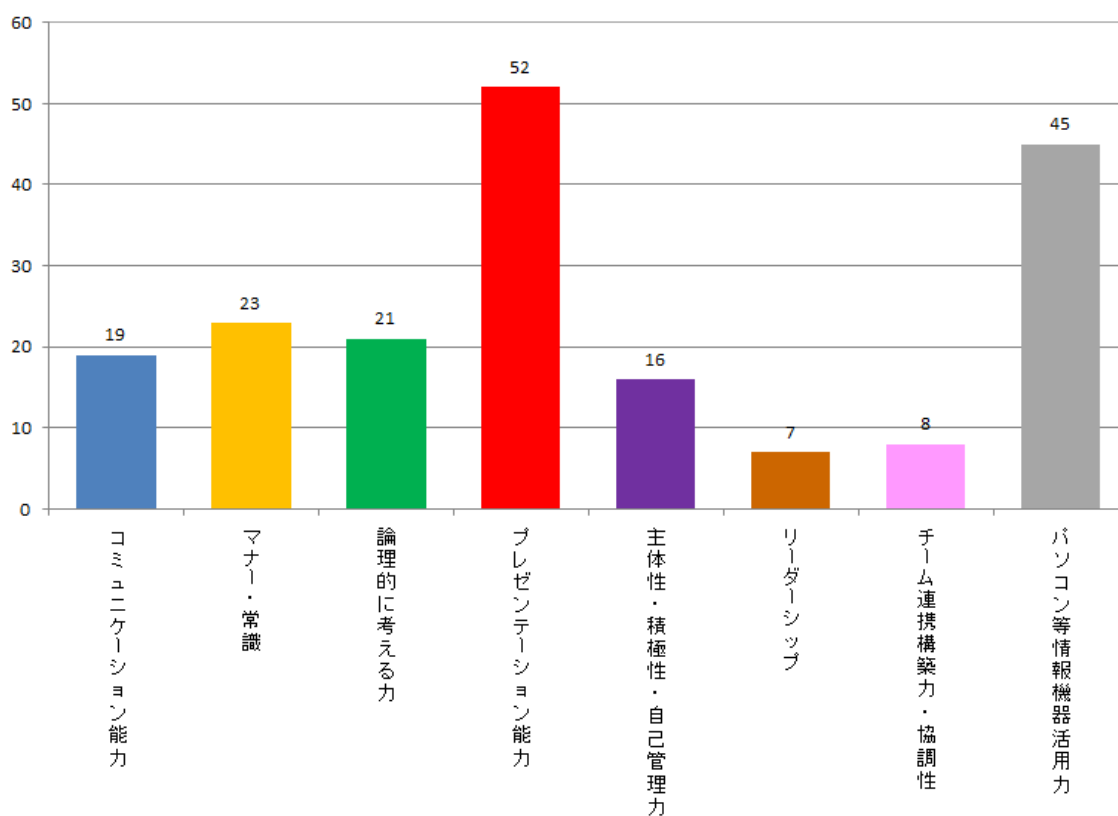
昨年度実施した調査と比較して、自然科学・一般教養の項目を選択する学生の割合が増加した点が特徴的であるといえる。



「臨床実習を終えた現在から振り返って、もっと学んでおけばよかったと思う科目」を2つまでの複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。例年通り多数の学生が解剖学を選択する結果となっている。(下図 R4.12.14 訂正)

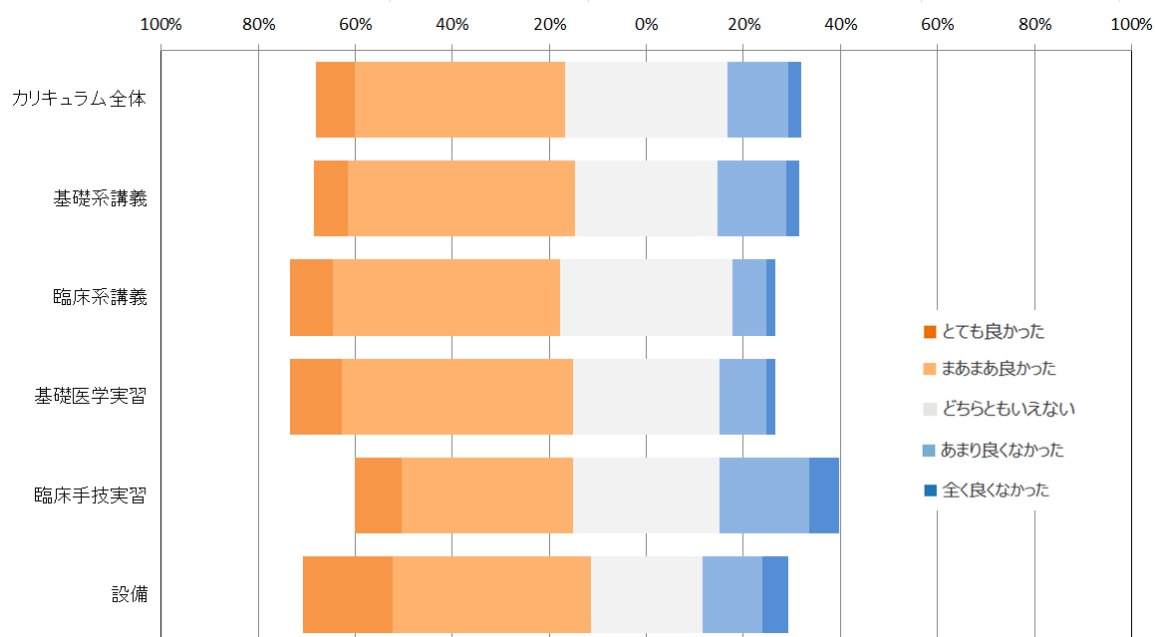


「これまでの学部教育や活動を通してもっと身につけておきたかった」と思う項目2つまでの複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。プレゼンテーション能力や情報機器活用力の回答数が多い結果となっている。昨年度と比較して情報機器活用力を選択する学生の割合がやや高かった。



学部教育に対する評価

・杏林大学における医学教育に関する 5 段階評価の結果は下図の通りであった。
昨年度の調査結果と比較して、設備の項目において高評価を選択する割合が増えたが、一方で臨床手技実習を低評価とする割合もやや増える結果となった。



・「学部教育について、特に習得し成長できたと実感する」と思う項目択一で選択する設問に対する回答結果は下図の通りとなった。昨年同様、医学知識と技能を選択する学生の割合が高い結果となっている。

